

# 1 自己評価及び外部評価結果

## 【事業所概要(事業所記入)】

|         |                       |       |     |
|---------|-----------------------|-------|-----|
| 事業所番号   | 4070502440            |       |     |
| 法人名     | 株式会社 深田商店             |       |     |
| 事業所名    | 小倉南ケアセンター 和が家 グループホーム | ユニット名 | みやび |
| 所在地     | 福岡県北九州市小倉南区津田1-5-16   |       |     |
| 自己評価作成日 | 平成24年10月18日           |       |     |

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

|   |
|---|
| <p>利用者の高齢化によって日々の体調管理の把握に力を入れております。かかりつけ医や薬剤師の先生方との連携を取りながら家族への早くて正確な状況報告を行い、信頼関係を築くよう努力しています。又、各利用者のレベルに合わせた支援を常に考え職員の日頃の気付きや工夫を生かし安全で安心な生活が送れるようにしています。</p> |
|---|

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。

|          |   |
|----------|---|
| 基本情報リンク先 | <a href="http://kaigokensaku.jp/">http://kaigokensaku.jp/</a> |
|----------|---|

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

|                              |
|------------------------------|
| <p>（外部評価機関からのコメント欄が空欄です）</p> |
|------------------------------|

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

|       |                           |         |             |
|-------|---------------------------|---------|-------------|
| 評価機関名 | 株式会社 アーバン・マトリックス 評価事業部    |         |             |
| 所在地   | 福岡県北九州市小倉北区紺屋町4-6 北九州ビル8階 |         |             |
| 訪問調査日 | 平成24年11月19日               | 評価結果確定日 | 平成24年12月29日 |

## V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項目 | 取り組みの成果<br>↓該当するものに○印                                     | 項目 | 取り組みの成果<br>↓該当するものに○印  |
|----|---|----|--|
| 58 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる<br>(参考項目:25,26,27)<br>○       | 65 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている<br>(参考項目:9,10,21)<br>○   |
| 59 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある<br>(参考項目:20,40)<br>○             | 66 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている<br>(参考項目:2,22)<br>○                     |
| 60 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている<br>(参考項目:40)<br>○                   | 67 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている<br>(参考項目:4)<br>○ |
| 61 | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている<br>(参考項目:38,39)<br>○    | 68 | 職員は、生き活きと働けている<br>(参考項目:11,12)<br>○                                      |
| 62 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている<br>(参考項目:51)<br>○                  | 69 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う<br>○                                       |
| 63 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている<br>(参考項目:32,33)<br>○         | 70 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う<br>○                                   |
| 64 | 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている<br>(参考項目:30)<br>○ |    |  |

| 自己評価および外部評価結果     |     |   |   |      |                   |
|-------------------|-----|---|---|------|-------------------|
| 自己                | 外部  | 項目  | 自己評価  | 外部評価 |                   |
|                   |     |   | 実践状況  | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| <b>I 理念に基づく運営</b> |     |   |   |      |                   |
| 1                 | (1) | ○理念の共有と実践<br>地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている  | 運営理念、グループホームの基本理念を毎朝申し送りの時に唱和している。職員全員理念にもとづいた支援を行なうよう努力している                      |      |                   |
| 2                 | (2) | ○事業所と地域とのつきあい<br>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している  | 町内会に入会し、回覧板等に依り、町内行事を把握している。散歩に出かけた際には声を掛け挨拶に依り顔なじみになれる様にしている。地域行事にも極力参加出来る様にしている |      |                   |
| 3                 |     | ○事業所の力を活かした地域貢献<br>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている  | 地域への貢献は出来ていない。しかし地域への行事へ参加する事により事業所の存在や認知症の方々の理解を少しずつも広げていると考える                   |      |                   |
| 4                 | (3) | ○運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている                                     | 二ヶ月に一度の運営推進会議を行い活動報告を行っている。又、家族からの意見を伺いサービス向上に努めており意見箱を設置している                     |      |                   |
| 5                 | (4) | ○市町村との連携<br>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる   | 地域包括支援センターの担当者の方には運営推進会議の連絡を行い協力関係を築くようにしている                                      |      |                   |
| 6                 | (5) | ○身体拘束をしないケアの実践<br>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 身体拘束については様々な機会に話すようにしている。玄関の施錠については防犯と安全を考え実施しているが施錠しない為の工夫が必要                    |      |                   |
| 7                 |     | ○虐待の防止の徹底<br>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている                                     | 合同カンファレンスにおいて虐待や身体拘束について話し合いを持ち防止に努めている   |      |                   |

福岡県 小倉南ケアセンター 和が家

| 自己 | 外部   | 項目   | 自己評価  | 外部評価 |                   |
|----|------|--|---|------|-------------------|
|    |      |  | 実践状況  | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 8  | (6)  | ○権利擁護に関する制度の理解と活用<br>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している  | 権利擁護に関する内部研修を行い、外部研修にも参加をしている。成年後見人制度について情報が得られる様パンフレットを用意し、説明や対応を行っている   |      |                   |
| 9  |      | ○契約に関する説明と納得<br>契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている   | 契約の際に十分な説明をし、理解して頂いている。又、疑問や不安等を伺いその都度契約書や重用事項説明書を用いて説明し、理解、納得をして頂いている  |      |                   |
| 10 | (7)  | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映<br>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている   | 利用者の意見や要望は接しながら聞き、感じとり、反映、改善出来る様に努めている。家族からの意見や要望は会議や設置している意見箱を通して報告書を作り職員に伝達し運営に反映する様に努力している                     |      |                   |
| 11 | (8)  | ○運営に関する職員意見の反映<br>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている  | 毎月のカンファレンスにおいて意見を聞く機会を設けている。又、意見等は主任、管理者、施設長へとつなぎ運営に反映させている   |      |                   |
| 12 |      | ○就業環境の整備<br>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている  | 勤務時間の希望や各職員の状況等を把握してシフトを作成し、働きやすい職場環境を作っている。各自、自己評価も提出してもらう等、向上心を持って働ける環境整備に努めている                                 |      |                   |
| 13 | (9)  | ○人権の尊重<br>法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。また事業所で働く職員についても、その能力を発揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している | 職員の採用については年齢や性別等を理由に採用対象から排除しない様にしている。各自の能力や家庭環境、健康、体力面に配慮し、無理なく能力が発揮できる環境を整備する努力をしている。又、資格取得や様々な研修に参加出来る様に配慮している |      |                   |
| 14 | (10) | ○人権教育・啓発活動<br>法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる   | 人権マニュアルや接遇マニュアルを作成し、研修を行っている。又、外部研修も行き、教育啓発活動に取り組んでいる   |      |                   |

福岡県 小倉南ケアセンター 和が家

| 自己                          | 外部   | 項目   | 自己評価  | 外部評価 |                   |
|-----------------------------|------|--|---|------|-------------------|
|                             |      |  | 実践状況  | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 15                          |      | ○職員を育てる取り組み<br>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている         | 新職員は研修期間があり、現職員と共に勤務し、指導を受けている。管理者や職員は外部研修に積極的に参加し、その情報を皆で共有し、介護実践向上の為に役立っている                       |      |                   |
| 16                          |      | ○同業者との交流を通じた向上<br>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | これまで近隣業者と同業者で交流会や研修に参加し、ネットワークづくり、情報交換、施設の紹介を行ってサービスの質の向上に努めている                                     |      |                   |
| <b>II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b> |      |  |   |      |                   |
| 17                          |      | ○初期に築く本人との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている           | 入所前に本人と面接し、1週間の体験入所を行っている。その期間に情報を把握しながら行動や性格の観察、本人に希望や要望を聞いた感じ取る事が出来る様な関係作りに努めている                  |      |                   |
| 18                          |      | ○初期に築く家族等との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている                      | 入所前に家族等の悩み、ホームへの希望、要望に耳を傾けながら関係作りに努めている。いつでも来所され、相談されやすい様に努めている                                     |      |                   |
| 19                          |      | ○初期対応の見極めと支援<br>サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている                  | 面接や入所前から十分な話し合いを持ち、本人の体験入所の時、最も必要な支援の見極めが出来る様に何が必要なのか、対応はどうすべきなのか考え取り組んでいる                          |      |                   |
| 20                          |      | ○本人と共に過ごし支えあう関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている                                  | 職員は利用者を介護される立場におかず人生の先輩である事や尊敬の念を持ち1日を笑ってのんびり過ごす事が出来る関係を築いている                                       |      |                   |
| 21                          |      | ○本人を共に支えあう家族との関係<br>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている                   | 家族とは会話を多く持つ様にしている。ホームの行事にも参加を促し本人との絆を大切にしている。生活の状況を説明したり見て頂いたりしている。又、ホームでの心配事を相談し共に本人を支えていく関係を築いている |      |                   |
| 22                          | (11) | ○馴染みの人や場との関係継続の支援<br>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている                                | 本人の記憶を大切に人との関係が途切れないう様に支援に努めている。馴染みの場所へは家族の支援に依り時折出掛ける事も出来ている                                       |      |                   |

福岡県 小倉南ケアセンター 和が家

| 自己                                 | 外部   | 項目   | 自己評価  | 外部評価 |                   |
|------------------------------------|------|--|---|------|-------------------|
|                                    |      |  | 実践状況  | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 23                                 |      | ○利用者同士の関係の支援<br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている                                   | 各利用者が孤立しないように職員が声掛けを行い、又、利用者同士の関係が上手くいくように職員が間に入り配慮している                 |      |                   |
| 24                                 |      | ○関係を断ち切らない取組み<br>サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている                    | 退所された家族にも定期的に連絡を入れて現状を確認している。入院中の方は御見舞いに行かせて頂いたり、亡くなった場合は葬儀にも参列させて頂いている |      |                   |
| <b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b> |      |  |   |      |                   |
| 25                                 | (12) | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している   | 利用者が何を望んでいるかを聞き、カンファレンスの時に職員同士で話し合いをする。又、家族にも協力をお願いする時もある               |      |                   |
| 26                                 |      | ○これまでの暮らしの把握<br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている                                       | 入所時に生活環境等の情報収集をして、その情報を職員が共有出来る様にファイルされている                              |      |                   |
| 27                                 |      | ○暮らしの現状の把握<br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている   | 利用者は日々状態変化する為、日誌等の記録物により現状の状態を把握する様に努めている                               |      |                   |
| 28                                 | (13) | ○チームでつくる介護計画とモニタリング<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 本人だけでなく家族とも話し合い、要望を聞き取り、他の職員ともカンファレンスに於いて話し合い、介護計画に反映させている              |      |                   |
| 29                                 |      | ○個別の記録と実践への反映<br>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている                        | 健康管理シート等に日々の状態を記録して職員同士情報の共有を図り、見直しに活用している                              |      |                   |

福岡県 小倉南ケアセンター 和が家

| 自己 | 外部   | 項目  | 自己評価   | 外部評価 |                   |
|----|------|---|--|------|-------------------|
|    |      |   | 実践状況   | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 30 |      | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化<br>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる                            | デイサービスの行事に参加し、交流を図り行事等の際はデイサービスフロアを利用している  |      |                   |
| 31 |      | ○地域資源との協働<br>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している                                      | 地域の自治会や民生委員、消防団等と関わりを持ち、安全で安心した生活が出来る様に支援している  |      |                   |
| 32 | (14) | ○かかりつけ医の受診支援<br>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している                                 | 2週に1度の往診があり職員とかかりつけ医、看護師とのコミュニケーションもとれているのでスムーズに情報も伝えられ、適切な医療が受けられる様に支援している              |      |                   |
| 33 |      | ○看護職との協働<br>介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している                          | デイサービスの看護師とは常に連携を取りながら健康チェックの実施をしている。又、かかりつけ医の看護師とも密に連絡を行っており、利用者が適切な受診や看護を受けられる様に支援している |      |                   |
| 34 |      | ○入退院時の医療機関との協働<br>利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 入院時には医師や看護師との連絡を常に取り状況把握に努めている。面会等を実施して病院関係者との情報交換に努めている                                 |      |                   |
| 35 | (15) | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援<br>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる  | 入所時に看取りについての説明を実施している。家族の希望に応じ、かかりつけ医、看護師、介護職を交え、十分に説明し方針を決定し、共にチームで支援に取り組んでいる           |      |                   |
| 36 |      | ○急変や事故発生時の備え<br>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている  | 消防訓練を定期的に受けている。緊急時マニュアルも作成しており、対応出来る様になっている  |      |                   |

福岡県 小倉南ケアセンター 和が家

| 自己                               | 外部   | 項目  | 自己評価  | 外部評価 |                   |
|----------------------------------|------|---|---|------|-------------------|
|                                  |      |   | 実践状況  | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 37                               | (16) | ○災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている            | 消防署と連携をとり避難訓練を実施している。地域の消防団には協力を依頼しているがまだ十分な体制は築けていない                   |      |                   |
| <b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b> |      |   |   |      |                   |
| 38                               | (17) | ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保<br>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている                    | 利用者の尊厳には十分配慮し声掛けの方法について話し合いを行っている                                       |      |                   |
| 39                               |      | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援<br>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている                      | 生活の中で思いや希望を聞くように努力し、意志を尊重している。理解出来ない様子が見られる時には解りやすく説明を行い自己決定出来る様に支援している |      |                   |
| 40                               |      | ○日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 一人一人のペースがあり、その方に合った生活支援を心掛けている  |      |                   |
| 41                               |      | ○身だしなみやおしゃれの支援<br>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している                                   | 訪問理美容を行っている。着衣については自身で選ぶ事の出来ない方には職員が支援している                              |      |                   |
| 42                               | (18) | ○食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている      | 食事の準備や片付け等は共に協力しながら行っている。職員が利用者と食卓を共にし、食事を楽しんで頂ける様に支援している               |      |                   |
| 43                               |      | ○栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている           | 各利用者に合わせた食事形態を考え、毎日の食事量、水分量が確保出来る様に支援している                               |      |                   |

福岡県 小倉南ケアセンター 和が家

| 自己 | 外部   | 項目   | 自己評価  | 外部評価 |                   |
|----|------|--|---|------|-------------------|
|    |      |  | 実践状況  | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 44 |      | ○口腔内の清潔保持<br>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている                       | 毎食後の口腔ケアを行っている。十分な口腔ケアが行えていない所は職員が支援している。又、週1回の訪問歯科の受診を行い、管理、指導を受けている |      |                   |
| 45 | (19) | ○排泄の自立支援<br>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている       | 各利用者に合わせた排泄の支援を行っている。体調や排泄パターンを理解してトイレ誘導を行っている                        |      |                   |
| 46 |      | ○便秘の予防と対応<br>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる                       | 排便チェックを毎日行い、水分量の不足に配慮している。食事内容も栄養士の管理の下、便通の良い食材を多く取り入れる               |      |                   |
| 47 | (20) | ○入浴を楽しむことができる支援<br>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている | 入浴の声掛けを行い、本人の体調や状況に合わせた入浴支援を行っている                                     |      |                   |
| 48 |      | ○安眠や休息の支援<br>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している                        | 体調や状況を見て休息を取って頂く様にしている。個々の生活ペースに合わせて、安眠出来る様に環境整備に努めている                |      |                   |
| 49 |      | ○服薬支援<br>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている                   | 薬剤師に依る薬剤管理を実施しており、目的、副作用や用法、用量の理解に努めている。服薬は職員の介助にて確実に支援出来る様に努めている     |      |                   |
| 50 |      | ○役割、楽しみごとの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている      | 一人一人にあった趣味やゲーム等を行っている。食器拭き、洗濯物畳み等家事活動にも参加して頂いてる                       |      |                   |



福岡県 小倉南ケアセンター 和が家

| 自己 | 外部   | 項目   | 自己評価   | 外部評価 |                   |
|----|------|--|--|------|-------------------|
|    |      |  | 実践状況   | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 51 | (21) | ○日常的な外出支援<br>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している                      | 天気の良い日には周辺の散歩へ出掛ける様にしている。外出支援シートを作成して各利用者が均等に外出出来る様に工夫している。家族や地域の方々との協力しながら外出は出来ていない |      |                   |
| 52 |      | ○お金の所持や使うことの支援<br>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している  | お金は預かり保管している。買い物へ行き、使える支援は行えていない   |      |                   |
| 53 |      | ○電話や手紙の支援<br>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている   | 手紙を書く事は皆様とても難しくなっている。又、電話をかける事を希望される事もない   |      |                   |
| 54 | (22) | ○居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 四季に応じ壁画等を張り替え、季節感を取り入れている。又、共有空間は不快感の無い様に換気に努め、安全と清潔に配慮している                          |      |                   |
| 55 |      | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり<br>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている  | 利用者各自席を決めているが時には席を替え気分転換を図ったり、ベランダで他の利用者と日光浴をされたりのんびりお話等出来る様に配慮している                  |      |                   |
| 56 | (23) | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている  | 利用者が入所前より使い慣れた物を使用して頂き居心地の良い空間を作る様にしている  |      |                   |
| 57 |      | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり<br>建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している   | トイレ、浴室、客室等解りやすい様に表示している。通路、フロアには利用者の歩行の妨げにならない様に物は置かず、各所に手すりを設置し安全に過ごせる様に配慮している      |      |                   |